



# 探究的な学習研究推進通信

Fukutomi Inquiry Learning Team



令和5年  
6月28日  
(水)  
No.22

## 第1回探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業

令和5年6月19日(月)に、広島県教育委員会 義務教育指導課 花岡拓也 指導主事、西部教育事務所 前田大輔 指導主事、東広島市教育委員会 指導課 長野由知 指導主事に来校していただき、第1回 令和5年度探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業が行われました。まず、以前FIT通信でお知らせした**本年度の研究の方向性(①学びの過程の可視化②教科や学校行事との関連付け③教職員のファシリテート)**を確認し、**各グループの年間の流れ**と**現在の進捗状況の交流**を単元ストーリーを用いて行いました。次に、花岡指導主事より本事業の最終年度に向けて、本物の探究とは何か、最終年度のテーマなど講話をしていただきました。6月29日(木)の小学校5・6年生をスタートに、研究授業も続々と計画されています。充実した活動を通して、児童・生徒の資質・能力を育成できるような、本物の探究を目指しましょう!

各グループの年間の流れ・現在の進捗状況					
小1年生	小2年生	小3・4年生	小5・6年生	中1・2年生	中3年生
ふくしょう ちょうさいたい	ふくとみ ちょうさいたい	とも(共・友)に いきる(生・活)	夢の実現 プロジェクトf	福富に住もう	福富提言
小学校に年長さんを招待して、福富小学校のよさを伝える活動に向けて、伝えるべきよさについて探究する。	道の駅の駅長さんから「地域のことについて調べてほしい」という依頼を受けて、町探検を進める。	「里山」をキーワードに、できること、してみたいことについて探究を進める。保護者や地域に発信する。	アクアフェスタでの活動を計画し、実施する。後半は実施の経験を活かし、次年度に向けて活動する。	人口減少・少子高齢化を解決するため、探究を進める。まとめたものを学校運営協議会の方々に発表する。	昨年度のテーマを自分たちの視点で考え、探究を進める。まとめたものを学校運営協議会の方々に発表する。
今年度から、1・2年生は別活動を行う。本格的にスタートをするのは、夏休み前の7月ごろから。	福富町の白地図に、自分たちが知っていることをシールで貼っている。6月20日(火)に道の駅に行き、駅長さんから依頼を受けた。マップを作成することになるかも。	3年目になり、児童が入替わったため、「里山」に対するおさえが弱くなった。活動と学習を並行して行う。小グループで活動する。【ごみ拾い・土地活用、資源活用・川にいる生き物】	「地域の人と一緒に、心の底から笑顔があふれる福富町を作りたい」という思いをもち、アクアフェスタで行う活動を考えている。グループごとに活動計画を立て探究を進めていく。	小グループのテーマが決定した。【鷹ノ巣山・水(福富ダム)・ミコシギク・商業施設・田舎暮らしin福富】アンケート結果からグループを編成し、探究すべき課題の詳細を決定していく。	小グループのテーマは昨年度のものを引き継ぐ。【野菜・生活・住まい】現在は仮説を立てている段階である。野菜の時期もあるので早く活動(検証)に移りたいが仮説もしっかり立てる必要がある。

### 花岡指導主事 講話

○どのような探究が本物か?

右の図にあるように、**活動**を通して**資質・能力**の育成を目指す。従来の知識習得型の受け身の授業のイメージを壊し、子ども達が学校や地域のために主体的にいきいきと活動する授業が本物。次年度からは研究推進リーダーがいなくなる。



を止めてはいけない。

○本事業の中心は誰?

中心は子ども達(一次円)である。学校(二次円)や地域(三次円)へ、探究の成果を波及させていく。その活動を通して、児童・生徒の資質・能力の育成を目指す。

ココ!

児童生徒の具体的な活動を単位に、単元を構成

活動を通して資質・能力を育成する点



○本年度のテーマは「**成果の普及**」

本事業の研究の成果を他校に発信していく。本校で培ってきた探究的な学習の在り方に関する知見を積極的に発信し、成果が広島県全体の子ども達へと還元されていく事業である。

○単元開発

学校でよく扱う 学校であまり扱わない

持続可能な社会の創り手⇒国連「持続可能な開発」**環境・社会・経済**の側面がある。実社会に挑戦することで、地域から経済の視点をもらうことができる。

足跡を共有できる環境を整備していく。<探究ロード>

○教員のファシリテート力の向上

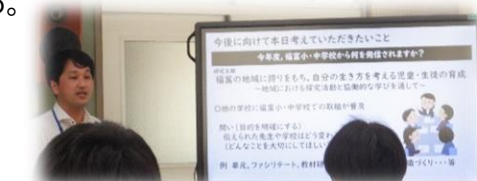
自走できる力(自己採点、宣言、双方向)

対話をさせる。⇒他者と自分との違いを明らかにする。

自分の考えがあいまいであることを自覚する。

○資質・能力とルーブリック

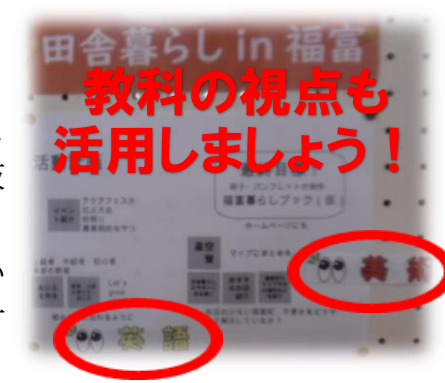
本校のルーブリックをどう生かすか?



## 探究ロード<学びの過程の可視化>



他のグループの活動の過程も共有できるように、小学校低学年棟へ向かう廊下に掲示板を設置しました。「探究ロード」と名付け、学びの過程を随時掲示していこうと考えています。こまめに更新して、学びの過程を共有していきましょう!



### これからの予定

6月29日(木) 研究授業(小5・6年生)



全体 長野指導主事来校  
小1・2年生  
研究授業(7/13) 指導案完成

7月3日(月) 研究授業(中3年生)

全体 前田指導主事来校  
長野指導主事来校

7月13日(木) 研究授業(小1・2年生)

小学校+FIT 朝倉教授来校

7月31日(月) 研究会当日の指導案の提出

(できる限り)

8月7日(月) ブロック研修

指導案や研究会当日の内容検討 全ブロック

## 先達の言葉

ほんものはつづく。

つづけるとほんものになる。

東井義雄(教育者・浄土真宗僧侶)

今年度で探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業が終了し、来年度からは、探究的な学習に関する研究推進リーダーはいなくなります。予算も削減されるかもしれません。そのような条件下でも続いていく活動が本物だと思います。子ども達が目を輝かせて活動する探究の風が止まないよう、持続可能な探究にしていきたいと思います!